

質問回答書

令和6年9月11日

入札参加業者各位

公立大学法人横浜市立大学

件 名 : 横浜市立大学総合研究教育棟改修工事（その2）

上記件名に係る契約について、次のとおり質問がありましたので、回答します。

担当 公立大学法人横浜市立大学

総務課施設担当

電話 787-8926

メール h_sisetu@yokohama-cu.ac.jp

質問	回答
＜質問1＞ A-42 D-2, 3にて総合案内サイン、フロア案内サインの改修が有りますがどの様な改修を行うのでしょうか。フロアガイドの修正の有無、室名表示の修正箇所数など指示願います。	＜回答1＞ 総合案内サイン及びフロア案内サインの改修は、既存の壁面サインパネル内に設置されたアクリルケース内の室名変更及びフロアガイドの修正になります。 室名表示の修正は、総合案内サイン・フロア案内サイン合わせて14室分となります。
＜質問2＞ 室名サインAの改修にて図面と設計書の内訳数量が合わないのですが設計書を正とすれば良いですか。	＜回答2＞ 数量は、設計書の通りです。
＜質問3＞ 既存のクロスのみ、石膏ボードのみ撤去で改修を行う箇所が多いですが下地の状況が悪い際や取り合いにて下地も直さなければならない際は、増減対応出来ますでしょうか。	＜回答3＞ 設計図書の変更については、工事請負契約約款の規定に基づいて実施します。
＜質問4＞ 石綿含有の分析調査にて定性分析を行うになっていますが何検体を見込めば良いでしょうか。	＜回答4＞ 石綿含有の定性分析は、設計書に含んでいません。 ボード及び塗膜一部にレベル3のアスベスト含有がありますので、処分先で分析を求められる場合、分析調査が必要となります。
＜質問5＞ 誘導員は、何名程度見込めばよいでしょうか。	＜回答5＞ 誘導員は、設計書に含んでいません。
＜質問6＞ 工事車両駐車位置や現場事務所用のコンテナ設置などに関してA-44仮設計画図に記載無いのでどの様に考えれば良いか指示願います。	＜回答6＞ 仮設計画図は、参考図になります。 実際の施工計画に基づき、駐車位置等の必要な仮設範囲については、協議により決定します。

以上